



第32号
2021年(令和三年)
3/21発行

トモニーういじゅく

豊島区民社会福祉協議会だより

赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

CONTENTS

- 募金運動にご協力頂き、ありがとうございました! 1面
- コロナ禍における個別支援・地域活動に関するアンケート調査結果報告 2面・3面
- クラフトマスクコンテスト2020 4面
- 豊島区民協SNSやってます! 4面
- 4コマ漫画「ふくじい・ふくみん ほのぼの日記」 4面
- 社協会員募集中!! 4面

発行：社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会（豊島区民社協）
〒170-0013 豊島区東池袋1-39-2 豊島区役所 東池袋分庁舎3,4階
E-mail : chiiki2@a.toshima.ne.jp
TEL : 03-3981-2930 / FAX : 03-5954-7105
HP : http://toshima-shakyo.or.jp/

新しい生活様式の下でも優しさと強さが響きあう福祉のまちを目指します

「豊島区民社会福祉協議会」は、社会福祉法により、全国・都道府県・区市町村に設置が定められた民間の福祉団体（社会福祉法人）です。「誰もが住み慣れたまちで安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、区民の皆さんや福祉関係者・団体等のご理解とご協力のもと、各時代において社会福祉制度の隙間を埋めながら、地域福祉活動を展開しています。

募金運動にご協力頂き、ありがとうございました!!

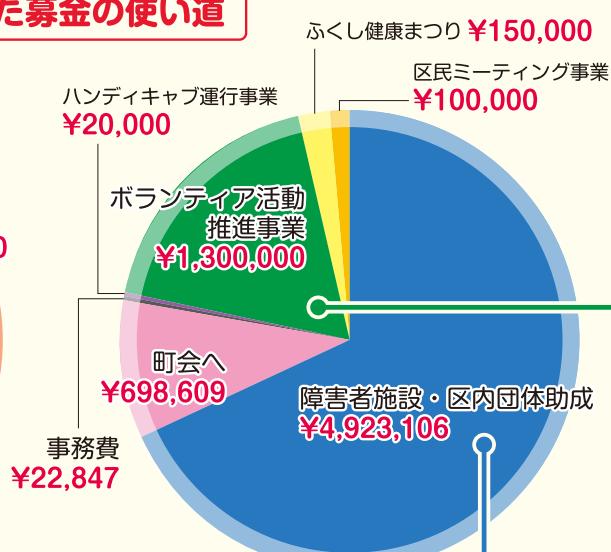
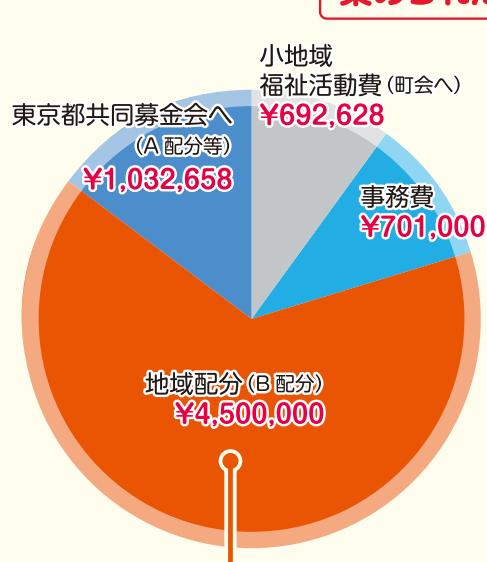
令和2年度は、コロナウイルスの蔓延という経験したことが無い厳しい状況下での募金活動となりました。しかしながら、町会の皆様をはじめ、多くの方が感染防止対策に留意しつつ、工夫を凝らしながら募金活動を展開してくださいました。皆様のご協力に対し、心よりお礼申し上げます。

令和2年度募金概要

【赤い羽根共同募金】
募金総額 **6,926,286円**

【歳末たすけあい・地域福祉活動募金】
募金総額 **7,214,562円**

集められた募金の使い道



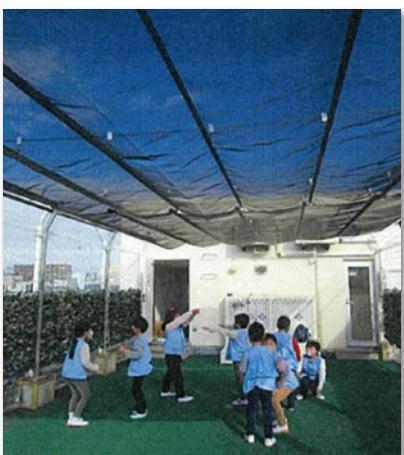
令和2年度使用 ボランティア活動推進事業 災害ボランティア登録者対象 「HOW TO サバイバル」 講演会の実施

水害に関する基礎知識や都市部の特徴について学び、水害時の避難の考え方や防災グッズの揃え方・活用方法、避難の判断の情報収集の方法など、豊島区の情報を取り入れながら教えていただきました。



令和2年度使用 地域配分 ありがとうメッセージ 社会福祉法人 みのり愛の会みのり保育園

今年度は、コロナ禍の影響でプール遊びは出来ませんでしたが、日除けテントが新しくなり暑かった夏も楽しく水遊びが出来ました。年長児クラスは、お楽しみ会の時に屋上でおやつのアイスクリークを皆で食べました。日除けテントのおかげで今年度も楽しい夏の思い出をたくさん作ることができました。



令和2年度使用 サロン活動支援助成金 活動紹介

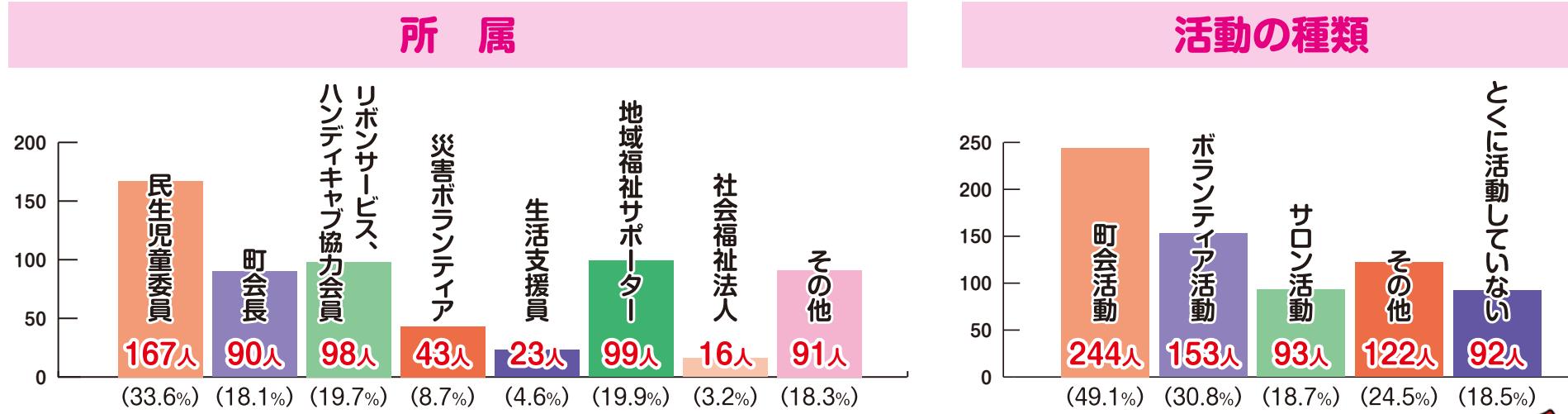
駒込親子サロンでは駒込地域にお住まいの子育てファミリーに向けた、①子育てトークと駒込地域情報に特化したポッドキャスト番組「こまごめラジオ」の制作と配信（奇数月）と、②「ふたごちゃんandmore ファミリー交流会」の開催（偶数月）の2つのプログラムを柱に活動しています。





「コロナ禍における個別支援、地域活動」に関するアンケート調査結果報告

ご回答いただいた方 回答総数497名 [アンケート配付数 1,028件
回収率 48.35%]



個別支援

高齢者、障害者、児童、生活困窮者、外国人、引きこもりの方等の支援をしている方への質問

問1. 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、あなたが支援している方（見守りや生活支援をおこなっている方）の生活状況は、どのように変化しましたか？

感染リスクがあるため外出をしなくなった
126人 (25.3%)

一人暮らしの方は安否確認ができない等、孤立が進んでいる
42人 (8.5%)

失業した方が増えた
19人 (3.8%)

経済的に生活に困窮している方が増えた
22人 (4.4%)

家庭内で、トラブルが増加し
DVや虐待が増えた
7人 (1.4%)

外出自粛による影響で、生活機能が低下した方が増えた
86人 (17.3%)

その他
55人 (11.1%)

問2. 新型コロナウイルスの影響で、支援を受けている方と連絡がとれない等の状況があります。支援者として生活支援、見守り活動、ボランティア活動の連絡手段、訪問活動にどのような課題がありますか？

感染リスクがあるため外出をしなくなった
126人 (25.3%)

SNSを活用したいが、使用方法等を伝えることが難しい
52人 (10.5%)

施設、病院等で面会制限が実施され会うことや、電話ができない
50人 (10.1%)

感染リスクのある中、活動を継続することに不安を感じる
125人 (25.2%)

マスクを着用できない方がいるので感染リスクがあり不安を感じる
15人 (3.0%)

利用者や相談者から、文句や苦情を受けることが増えた
6人 (1.2%)

活動の再開に向け感染症予防のための備品購入などの資金不足がある
1人 (0.2%)

その他
12人 (2.4%)

問3. コロナ禍において、あなたが支援している方の生活支援、見守り活動、ボランティア活動で新たにできそうなこと、やってみたいことはありますか？

新型コロナウイルス感染対策を十分におこなうながら実施する
158人 (31.8%)

対面での接触を控え電話、メールを活用
74人 (14.9%)

対面での接触を控えSNSを活用
(LINE、ツイッター、フェイスブック等)
27人 (5.4%)

対面での接触を控えZOOM等のオンライン会議を活用
20人 (4.0%)

その他
35人 (7.0%)

新型コロナウイルスの感染拡大により、「三密」を避ける生活が求められ、私たちの日常にさまざまな影響を及ぼしています。

社協では、こうした状況の中で、区民の皆さんがどのような不安を感じ、どのような支援を必要としているのかを把握するため、日頃からボランティアや見守りなどの地域福祉や社会活動に関わっておられる方々を対象にアンケート調査を実施しました。ご協力いただいた皆様ありがとうございます。調査の結果をご報告いたします。



地域活動

ボランティア活動、町会活動、サロン、子ども食堂等の活動に参加している方への質問

問4. 地域活動に参加していますか？

未回答
130人 (26.2%)

参加していない
33人 (6.6%)

参加している
334人 (67.2%)

問5. 地域活動はどのような現状ですか？
課題がありますか？

コロナ禍でも感染対策をおこない積極的に運営・参加している
144人 (29.0%)

コロナ禍で不安や恐れがあり運営・参加を控えている
180人 (36.2%)

地域で集まることができないので地域や参加者のニーズが把握できない
82人 (16.5%)

地域で集まる場所がなく、参加者の孤立が進んでいる
45人 (9.1%)

参加者から「行くところがない」「参加することが不安」等、気持ちの変化がみられる
87人 (17.5%)

支援するボランティアが不足している
29人 (5.8%)

地域活動を実施するにあたり感染対策の備品購入等の資金不足がある
13人 (2.6%)

その他
67人 (13.5%)

「その他」のうち主なもの

- ・イベントはすべて中止となり、町の盛り上がりがない。
- ・ダメなことより、出来ることを考え、みんなで知恵を出し合って社会を明るくしたい。
- ・コロナの今はデジタル技術の導入、活動見直しのいいチャンスだと思う。

問6. コロナ禍において、地域活動でできそなこと、やってみたいことはありますか？

新型コロナウイルス感染対策を十分におこないながら実施する
263人 (52.9%)

地域活動の方法・プログラム等を見直す
176人 (35.4%)

地域活動の参加ルールを設定し周知する
106人 (21.3%)

対面での接触を控えSNSを活用する
57人 (11.5%)

対面での接触を控えZOOM等のオンライン会議を活用する
39人 (7.8%)

対面での接触を控え食事（弁当）を届ける等の活動に切り替える
35人 (7.0%)

その他
49人 (9.9%)

「その他」のうち主なもの

- ・ワクチンができるから活動したい。・周囲に迷惑をかけない活動方法で行いたい!!
- ・手紙やインターネット越しの会話でも一人じゃないと思ってもらえる。
- ・屋外での防災訓練は感染対策を十分におこなえば徐々に実施可能だと思う。

問7. 自由意見（主なものをご紹介します）

- ・外出が減り脚力が衰えている高齢者が多い。
- ・人とのかかわりが減っている。認知症の原因にならないか心配だ。
- ・何もできないではなく、何ができるのかを模索し、その中で子ども、高齢者の悩みにこたえていくことが大切だ。
- ・支援する側が自粛して、支援される側に何かあったとしたら、何のための活動なのかと思う。

- ・対策を取りつつ、人と人のつながりを大切にする活動がいいと思う。
- ・SNS、ZOOMは難しい。チラシや冊子に簡単なメッセージを付けてポスティングすることでつながりを絶やさないようにしていくことが大切だ。
- ・親子向け事業などすぐに定員となる。閉塞的な世の中だからこそみんなと触れ合う機会を求めてる。
- ・こんな時こそ、地域を見守る目が大切だと思う。

たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。

寄せいただいた皆さんのお声をもとに今後の地域福祉の向上に取り組んでまいります。
引き続きご協力いただきますようお願いいたします。



クラフトマスク2020

クラフトマスクで地域をつなぐプロジェクトの一環として、クラフトマスクコンテスト2020を実施しました。

栄えあるグランプリに選ばれたのは、アカウント名「トンボ」さん。

自宅で過ごす時間が増えたことがきっかけで、10月から独学で刺繡を始め、手芸用品店で配布されている型紙を使ってマスクを作られたそうです。お揃いの刺繡が入ったブローチやバッグと同じ生地を使ったマスクなど、素敵な作品を投稿してくださいました。コンテストは、ご家族から教えてもらい参加してくださったとのこと。

これからも素敵なマスクライフをお過ごしください!



豊島区民社協 SNSやってます!



Twitter
(ツイッター)



情報の新着や更新をお知らせします。
社協キャラクター「ふくじい」が時々つぶやくかも。
アカウント：豊島区民社会福祉協議会
URL:<https://twitter.com/toshimakumincsw>



Instagram
(インスタグラム)



写真や動画で地域の皆さんの地域福祉活動や区内の出来事や季節の便りなどを、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)で発信をしております。
ぜひ一度ご覧いただき、フォロー、いいね、友達追加をお願いします。
アカウント: 豊島区民社会福祉協議会
URL:https://www.instagram.com/toshimakumin_csw/



LINE



SNSはよく分からぬけど、LINEだったらやっている…という方は多いのではないかでしょうか。LINEで「友だち追加」すれば、社協の情報を入手できるようになります。
アカウント: 豊島区民社会福祉協議会

社会福祉協議会 会員募集中!!

地域福祉の推進を応援してくださる方を募集しています。

ひとりでも多くの皆さんのが社協会員となっていただくことで、地域の活動や困りごと、悩みごとを抱えている方々への支援につながります。皆様からいただいた社協会費は、

「地域の団体やサロン事業の運営支援」「地域福祉情報の共有のための広報活動」
「ボランティアの育成や活動支援」「多世代交流、多文化交流など、地域のつながり作り」

に使われます。

豊島区民社協の活動に、ご支援ご協力ををお願いいたします。

区分	年会費(4月1日～翌年3月31日)
会員区分	個人会員 1口 1,000円以上 (個人での加入)
	団体会員 1口 2,000円以上 (グループ、町会等での加入)
	施設会員 1口 5,000円以上 (社会福祉施設での加入)
	賛助会員 1口 3,000円以上 (企業等での加入)

★ご入会には入会申込書の提出と会費の納入をお願いします。詳しくは、下記までお問い合わせください。

「トモニーフクミン」に広告を掲載してみませんか?

規格	広告掲載料
タテ約9cm/ヨコ約8cm	50,000円
タテ約9cm/ヨコ約12cm	75,000円
タテ約9cm/ヨコ約24cm	150,000円

広告掲載を希望する個人・団体・企業を募集しています。PRなどにご活用ください。
年で3回、各80,000部発行、新聞折込で豊島区民に配布しています。詳しくは下記までお問合せください。

問合せ

総務課 TEL:03-3981-2930 FAX:03-5954-7105

